



武蔵村山市議会議員 あまめいし 要一郎

腐敗 STOP 通信 2024 年 夏

天目石要一郎後援会 208-0013 武蔵村山市大南 4-21-31 エステート大南公園 3-503
電話・FAX042-564-2550 メール amame1968@yahoo.co.jp

築地本願寺でチベットフェスティバルが開催されました。チベット仏教は、釈迦の教えに近いのに「小乗」と見下される上座部仏教も大乘仏教も理論的にまとめあげています。カルト宗教にハマっている人は、ダライ・ラマの本などを手に取って、一度、頭の整理をすることをお勧めします。冷静さを取り戻せると思います。

1 件名
備品（投票用紙自動交付機）購入

2 品名・規格等

品名	規格	数量	備考
投票用紙自動交付機	メーカー：株式会社ムサシ	52台	同等品可
	品名：テラックBA-10		
	品番：2227-010		
	寸法：W250×D316×H181mm		
	重量：約5.5kg		
	電源：AC100V		
	表示部：LCD 5×7ドット 20文字×2行		
	収納容量：1,000票		
	検知機能：光電素子による二重送り・斜行・連鎖検知		
	音声：男女音声選択可能		

投票用紙自動交付機の入札の仕様書です。52台も購入しました。

そんなに必要なの？投票用紙自動交付機を大量購入！

武蔵村山市に選挙の投票所はいくつあるかご存じでしょうか？答えは11ヶ所です。なのに、都知事選挙に向けて、ムサシ製の投票用紙自動交付機を52台も購入しました。その金額たるや1704万5600円(税込)です。1台単価は32万7800円にもなります。なんと！落札率は予定価格の100%と、初めて見る怪しげな入札結果でした。投票所で「〇〇選挙です」と音声が出てくるあの機械です。

あまりに不自然なので、調べてみると、投票用紙自動交付機を令和3年と平成29年、平成25年にも購入していることが分かりました。購入金額は令和3年が164万8900円(10台、単価164,890円グローリー製)、平成29年が205万2000円(10台、単価205,200円ムサシ製)、平成25年が245万7千円(12台、単価204,750円ムサシ製)です。今回の購入単価は3年前購入したグローリー製のほぼ2倍です。また、武蔵村山市が購入した物と同じ製品を生駒市では2年前に1台当たり28万6千円で5台購入しています。まとめて購入して割引になるのなら理解できますが、ずっと割高になるのはどうして？

なぜかムサシのホームページには、投票用紙自動交付機の価格は出てません。選管の話では、令和7年でメンテナンスサポートが切れるので購入することにしたとのこと。年に1回ぐらいしか使わないのだから、最低2、30年はサポートして当たり前でしょう。どうせ税金だと思って、足元を見て商売をしているとは思えません！加えて、都知事選挙で、都から補助金が出るので市も懐は痛みません。それにしても、11ヶ所しか投票所が無いのに、約10年で84台もの投票用紙自動交付機の大量購入。「本当に必要なの？」と選挙の深い闇を感じます。

武蔵村山市選挙管理委員は、公明党の沖野せいこ議長(当時)が、公明党の宮崎起志元市議を指名推薦するという、地方自治法とは明らかに異なる方法で決めました。それも、選挙管理委員に手を挙げた良識ある多くの市民を握りつぶしてまで。そんな、公明党支配の選挙管理委員の任期は今年の10月までです。

公正で民主的な武蔵村山市の実現のために、良識ある市民の方に選挙管理委員に就任していただきたいです。良識ある市民のみなさん。ぜひ、複数の党派の市議会議員に「選挙管理委員をやってみたい」と相談してみてください。今回は私にしか相談が来なかったので、力づくで握りつぶされたので。